

- 百合, 宮澤春菜, 皆川高嘉, 中島麻由佳, 中島貴子, 多部田康一: *Porphyromonas gingivalis* 口腔感染はマウス腸内細菌叢を変動させインスリン抵抗性を誘導する. 第 56 回春季日本歯周病学会学術大会, 船橋市, 2013 年 6 月 1 日, 日本歯周病学会誌 55 巻 春季特別号: 42 頁, 2013.
- 36) 有松圭, 土門久哲, 山田ひとみ, 宮内小百合, 宮澤春菜, 皆川高嘉, 中島麻由佳, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 口腔感染マウスモデルで誘導させるインスリン抵抗性は脂肪組織及び肝臓における炎症反応と関連する. 第 56 回春季日本歯周病学会学術大会, 船橋市, 2013 年 6 月 1 日, 日本歯周病学会誌 55 巻 春季特別号: 42 頁, 2013.
- 37) 宮内小百合, 本田朋之, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: ヒト歯肉上皮細胞における interleukin(IL) -17 と IL-17 受容体の発現プロファイル. 第 56 回春季日本歯周病学会学術大会, 船橋市, 2013 年 5 月 31 日, 日本歯周病学会誌 55 巻 春季特別号: 16 頁, 2013.
- 38) 小林哲夫, 岡田萌, 石田光平, 小島杏里, 吉江弘正: IL-6 受容体抑制治療中の関節リウマチ患者の歯周状態. 第 56 回春季日本歯周病学会学術大会, 船橋市, 2013 年 5 月 31 日, 日本歯周病学会誌 55 巻 春季特別号: 93 頁, 2013.
- 39) 堀水慎, 久保田健彦, 川瀬知之, 永田昌毅, 奥田一博, 富田尊志, 両角俊哉, 吉江弘正: Platelet-rich fibrin(PRF) との複合化によるヒト培養骨膜シートの骨形成活性の亢進. 第 56 回春季日本歯周病学会学術大会, 船橋市, 2013 年 5 月 31 日, 日本歯周病学会誌 55 巻 春季特別号: 97 頁, 2013.
- 40) 宮澤春菜, 本田朋之, 宮内小百合, 土門哲久, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: 歯周炎罹患が PCSK9 および脂質プロファイルに及ぼす影響. 第 46 回新潟歯学会総会, 新潟市, 2013 年 4 月 20 日. 新潟歯学会雑誌 第 43 巻第 1 号: 74 頁, 2013.
- 41) 小川信, 星名秀行, 山田一穂, 勝見祐二, 上杉崇史, 藤井規孝, 荒井良明, 久保田健彦, 小林正治, 櫻井直樹, 田中裕, 永田昌毅, 嵐山貴徳, 齊藤力, 高木律男, 魚島勝美: 新潟大学医歯学総合病院インプラント治療部開設後 6 年間における入院症例の臨床的検討. 平成 25 年度新潟歯学会総会, 新潟市, 2013 年 4 月 20 日. 新潟歯学会雑誌 第 43 巻第 1 号: 77 頁, 2013.
- 42) 小林哲夫, 伊藤聡, 小林大介, 成田一衛, 村澤章, 吉江弘正: トシリズマブ (TCZ) 療法中の関節リウマチ患者の歯周状態. 第 57 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 京都, 2013 年 4 月 19 日, 第 57 回日

本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集: 361 頁, 2013.

【受賞】

- 1) 有松圭: 2013 IADR/Unilever Hatton Divisional Award.

【その他】

- 1) 吉江弘正: 歯周病治療における抗菌剤の経口投与の効果. Minds 医療情報サービス, 2014 年 1 月 15 日.
- 2) 小林哲夫: 歯周病と RA の関連性. リウマチ Q&A カンファレンス, 和歌山市, 2013 年 11 月 21 日.
- 3) 吉江弘正: 「歯周病と糖尿病」. 富山県南砺市歯科保健推進協議会 歯科保健講演会, ア・ミューホール, 南砺市, 2013 年 10 月 30 日.
- 4) 奥田一博: 歯周組織再生法の現状と最前線—GTR 法, エムドゲイン法, 培養骨膜シート法—. 五泉市阿賀町歯科医師会 学術講演会, 五泉市, 2013 年 10 月 28 日.
- 5) 杉田典子: 関係ある!? 歯周病と全身の健康. 第 28 回佐渡総合病院祭, 佐渡総合病院, 佐渡市, 2013 年 10 月 20 日.
- 6) 吉江弘正: 医の手帳. 朝日新聞, 2013 年 10 月 19 日.
- 7) 吉江弘正: 医の手帳. 朝日新聞, 2013 年 10 月 12 日.
- 8) 吉江弘正: 医の手帳. 朝日新聞, 2013 年 10 月 5 日.
- 9) 小林哲夫: 歯周病と関節リウマチ. 平成 25 年度 OMMC Talk with the expert seminar, 大阪南医療センター, 河内長野市, 2013 年 8 月 22 日.
- 10) 吉江弘正: 歯周病と糖尿病・抗菌・再生治療. 飯田下伊那歯科医師会 臨床研究懇談会 学術講演, 飯田下伊那歯科医師会館, 飯田市, 2013 年 7 月 20 日. 吉江弘正: 糖尿病と歯周病. 和歌山県保険医協会 学術講演, ダイワロイネットホテル和歌山, 和歌山市, 2013 年 4 月 20 日.

歯科矯正学分野

【著書】

- 1) 齋藤 功: 第一期治療の意義について考える—第二期治療との関わりの中で—. 臨床家のための矯正 YEAR BOOK '13 (佐々木一高編) 140-141 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2013.
- 2) 齋藤 功: 「摩擦と固定の負荷について考察する (翻訳)」*Dholakia KD. Friction and anchorage loading revisited. Orthodontics* 2012;13(1): 200-209.」より. 臨床家のための矯正 YEAR BOOK '13 (佐々木一高編) 127-135 頁, クインテッセンス出版, 東京,

2013.

- 3) 齋藤 功: 顎変形症の治療 (1) 診査・分析・診断. 『口腔科学』(戸塚靖則、高戸 毅監修) 599-607 頁, 朝倉書店, 東京, 2013.
- 4) 齋藤 功: 顎変形症の治療 (2) 治療法の決定. 『口腔科学』(戸塚靖則、高戸 毅監修) 607-611 頁, 朝倉書店, 東京, 2013.
- 5) 齋藤 功: 顎変形症の治療 (3) 術前矯正治療. 『口腔科学』(戸塚靖則、高戸 毅監修) 611-617 頁, 朝倉書店, 東京, 2013.
- 6) 齋藤 功: 顎変形症の治療 (5) 術後矯正治療. 『口腔科学』(戸塚靖則、高戸 毅監修) 626-630 頁, 朝倉書店, 東京, 2013.

【論文】

- 1) Ahsan A, Yamaki M, Hirotoomi T, Hossain Z, Saito I: DAI scores and its relation to self-perceived dental aesthetic and orthodontic concern in Bangladesh and Japan. *Orthod Waves*72(3):99-104, 2013.
- 2) Mostafaezur RM, Shinoda M, Unno S, Zakir HM, Takatsuji H, Takahashi K, Yamada Y, Yamamura K, Iwata K, Kitagawa J: Involvement of astroglial glutamate-glutamine shuttle in modulation of jaw-opening reflex following infraorbital nerve injury. *Eur J Neurosci*. doi:10.1111/ ejn.12562. [Epub ahead of print], 2014.
- 3) Takahashi K, Shingai T, Saito I, Yamamura K, Yamada Y, Kitagawa J: Facilitation of the swallowing reflex with bilateral afferent input from the superior laryngeal nerve. *Neurosci Lett*562:50-53, 2014.
- 4) Kudo K, Takagi R, Kodama Y, Terao E, Asahito T, Saito I: Evaluation of speech and morphological changes after maxillary advancement for patients with velopharyngeal insufficiency due to repaired cleft palate using a nasometer and lateral cephalogram. *J Oral Maxillofac Surg Med Path* 26(1):22-27, 2014.
- 5) Kalajzic Z, Peluso EB, Utreja A, Dymont N, Nihara J, Xu M, Chen J, Uribe F, Wadhwa S.: Effect of cyclical forces on the periodontal ligament and alveolar bone remodeling during orthodontic tooth movement. *Angle Orthod* 84(2): 297-303, 2014.
- 6) Ahsan A, Yamaki M, Hossain Z, Saito I: Craniofacial cephalometric analysis of Bangladeshi and Japanese adults with normal occlusion and balanced faces: A comparative study. *J Orthodont Sci* 2(1):7-15, 2013
- 7) 渡辺 厚, 渡辺直子, 廣富敏伸, 八巻正樹, 宮崎秀夫, 齋藤 功: 総合大学新入生における Dental Aesthetic Index と歯列に対する自己評価との関連性について. *Orthod Waves-Jpn Edit* 72(2):99-105, 2013.
- 8) 永井嘉洋, 西山秀昌, 丹原 惇, 田中 礼, 八巻正樹, 林 孝文, 齋藤 功: 顎顔面形態の評価に有用な 3次元計測点の再現性に関する研究. *日骨形態誌* 23: S145-S155, 2013.
- 9) 加納浩之, 小林正治, 船山昭典, 三上俊彦, 齋藤功, 齋藤 力: 上下顎移動術にポリ-L-乳酸/ポリ-D-乳酸/ポリグリコール酸生体吸収性骨接合材を使用した下顎前突症患者の術後顎骨安定性. *日顎変形誌* 23(1):8-14, 2013.
- 10) 竹山雅規: インプラントアンカーを併用した成人上突咬合症例. *Monog. Clin. Orthod.* 34:26-33, 2013.
- 11) 竹山雅規: 下顎右側側切歯, 犬歯の癒合を伴う成人上顎前突症例. *甲北信越矯歯誌* 21(1):44-44, 2013.
- 12) 小山貴寛, 芳澤享子, 小野和宏, 阿部裕子, 森田修一, 高木律男: 永久歯の歯胚回転を行い萌出方向の改善を行った 3 例. *日口外誌* 59(11): 704-707, 2013.
- 13) 北川純一, 高辻華子, 高橋功次郎, 真貝富夫: のど越しについての生理学的考察. *日味と匂会誌* 20(2):143-149, 2013.

【研究費獲得】

- 1) 福井忠雄, 齋藤 功, 林 孝文: 超音波診断検査を用いた顎変形症の機能的診断法の開発. 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 25463173, 2013.
- 2) 朝日藤寿一, 齋藤 功, 高木律男, 児玉泰光: 口蓋裂患者に対する上顎前方移動術後の鼻咽腔閉鎖機能予後総合評価システムの確立. 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 25463175, 2013.
- 3) 渡邊直子, 林 孝文, 齋藤 功: 有限要素法と骨リモデリングシミュレーションによる効果的顎変形症治療システムの開発. 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 24593086, 2013.
- 4) 越知佳奈子, 齋藤 功, 齋藤 力: 画像認知とオントロロジーを融合した顎変形症診断支援システムの開発とその臨床応用. 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 22592282, 2013.
- 5) 焼田裕里: 顎矯正手術シミュレーションへの応用を視野にいた術前後軟組織変化様相の解明. 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 若手研究 (B), 25862007, 2013.
- 6) 丹原 惇: 有限要素法を用いた顎矯正手術後の顎骨内応力解析による術後変化予測とその臨床応用. 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 若手研究 (B), 25862005, 2013
- 7) 吉居朋子: アクアポリン 1 を用いた歯の移動におけ

るラット臼歯歯根膜動態の比較検討. 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 若手研究 (B), 25862006, 2013.

- 8) 竹山雅規: 矯正歯科治療による前歯の後退により呼吸機能が低下して睡眠時無呼吸のリスクは増加するか?. 新潟大学プロジェクト推進経費, 25C033, 2013.
- 9) 篠倉千恵: 嚥下時舌運動を指標とした不正咬合の機能的診断法の開発. 新潟大学プロジェクト推進経費, 25C044, 2013.
- 10) 小原彰浩: 精確な顎矯正手術シミュレーションの開発を目標とした顎矯正手術前後における全顔面軟組織変化様相の解明—コンベーム CT 頭蓋顔面硬・軟組織三次元データと歯列模型三次元データ統合モデルの応用—. 新潟大学プロジェクト推進経費, 25C034, 2013.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Saito I: Collaborative Treatment in Orthodontic Adult Patients -Orthodontic Remedies Combined with Orthognathic Surgery and/or Tooth Transplantation-. The PSU 30th Anniversary Conference (Dental Orchestra), Hatyai, Thailand, October 17-18, abstract book: 47-48, 2014.
- 2) Saito I: Let's think together over challenging adult orthodontic cases. Special lecture at Orthodontic Section, Prince of Songkla University, Hatyai, Thailand, 2013.10.16, 2013.
- 3) Watanabe N: Stress Distribution Analysis in a Skull with Skeletally Deviated Occlusion. Indiana Bone Research Club, Indianapolis, Indiana, 2013.5.8, 2013.
- 4) 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院・矯正歯科における矯正治療のコンセプトとその実践—成人矯正治療および限局矯正例を交えながら—. 平成 25 年度 燕 歯 科 医 師 会 学 術 講 演 会 , 新 潟 市 , 2013. 11. 16, 2013.
- 5) 齋藤 功: 臨床セミナー「より良い治療結果を求めて—外科的矯正治療適用症例を中心に—」. 第 72 回日本矯正歯科学会大会, 松本, 2013. 10. 8, 抄録集: 100 頁, 2013.
- 6) 齋藤 功: 矯正歯科のいろいろ. 第 72 回日本矯正歯科学会大会, 松本, 2013. 10. 6, 学術大会抄録集: 127 頁, 2013.
- 7) 齋藤 功 (コーディネーター): シンポジウム「Japanleft 委員会発足の経緯とこれから」. 第 37 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 佐賀, 2013. 5. 31, 日本口蓋裂学会雑誌: 38(2) : 160-165, 2013.
- 8) 朝日藤寿一: シンポジウム II Japanleft 委員会発

足の経緯とこれから 一口唇裂・口蓋裂患児の咬合と成長発育に係わる多施設共同研究を考える会の実施一. 第 37 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 佐賀, 2013. 5. 31, 日本口蓋裂学会雑誌: 38(2) : 163, 2013.

【学会発表】

- 1) Jun NIHARA, Krystyna GIELO-PERCZAK, Lucas CARDINAL, Ravindra NANDA, Flavio URIBE, Isao SAITO: Finite Element Analysis of Molar Protraction Mechanics Using Miniscrews. The 3rd International Symposium on Human Resource Development towards Global Initiative, Krabi, Thailand, 2013.12.20-22, abstract book: 105 頁, 2013.
- 2) Ochi-Yamazoe K, Yamazoe K, Kohara A, Yakita Y, Saito I: A cognitive engineering approach to an analysis of the dentoalveolar morphology. 89th Congress of European Orthodontic Society, Reykjavik, 2013.6.18-23, abstract book: 35(5): e154, 2013.
- 3) Asahito T, Nihara J, Watanabe N, Takeyama M, Yoshida R, Kudo K, Sano-Asahito T, Miyagi T, Saito I: A schedule for orthodontic treatment in cleft lip and palate patients in Niigata University Medical and Dental Hospital . 12th International Congress on Cleft Lip/Palate and related Craniofacial Anomalies, Orland, US, 2013.5.5-10, 2013.
- 4) WATANABE N, SAITO I: Stress Distribution Analysis in a Skull with Skeletally Deviated Occlusion. American Association of Orthodontics, Pennsylvania, Philadelphia, 2013.5.3-7, 2013.
- 5) 井上香織, 渡邊洋平, 毛利 環, 足立孝二, 富樫真二, 山縣憲司, 柳川 徹, 朝日藤寿一, 齋藤 功: 口唇裂・口蓋裂患児への腸骨移植を含むインターディシプリナリー治療—顎裂骨欠損の歯槽骨再生を目的とした矯正治療症例—. 第 22 回茨城県歯科医学会, 水戸市, 2014. 2. 9, 2014.
- 6) 小野由紀子, 芳澤享子, 新美泰恵, 渡邊直子, 小林正治: 歯の萌出誘導により良好な咬合が得られた多発性角化嚢胞性歯原性腫瘍の 1 例. 日本形成外科学会関東支部 第 94 回日本形成外科学会新潟地方会, 新潟市, 2014. 2. 7, 2014.
- 7) 高橋功次朗, 北川純一, 山村健介, 齋藤 功: 両側上喉頭神経刺激による嚥下誘発促進効果. 平成 25 年度第 2 回新潟歯学会例会, 新潟市, 2013. 11. 9, 抄録集: 20 頁, 2013.
- 8) 井表千馨, 原田史子, 齋藤 功, 前田健康: ラット切歯歯根膜ルフィに神経終末の再生過程における ASIC3 の役割. 平成 25 年度第 2 回新潟歯学会例会, 新潟市, 2013. 11. 9, 抄録集: 19 頁, 2013.

- 9) 清水雄介, 永井嘉洋, 八巻正樹, 小林正治, 齋藤功: 外科的矯正治療を適用した骨格性下顎前突症患者における舌骨の三次元的位置と上下顎移動様式との関係. 平成25年度第2回新潟歯学会例会, 新潟市, 2013. 11. 9, 抄録集: 19 頁, 2013.
- 10) 大竹正紀, 内田喜昭, 河合美佐子, 齋藤 功, 山村健介: 苦味刺激およびうま味刺激のヒト咽頭領域における嚥下反射変調効果. 第 72 回日本矯正歯科学会大会, 松本市, 2013. 10. 7-9, 抄録集: 162 頁, 2013.
- 11) 高橋功次郎, 北川純一, 山村健介, 齋藤 功: 上喉頭神経の嚥下誘発における促進効果. 第 72 回日本矯正歯科学会大会, 松本市, 2013. 10. 7-9, 抄録集: 163 頁, 2013.
- 12) 坂上 馨, 篠倉千恵, 福井忠雄, 齋藤 功: 嚥下時舌機能評価における舌圧センサーシートの有用性. 第 72 回日本矯正歯科学会大会, 松本市, 2013. 10. 7-9, 抄録集: 170 頁, 2013.
- 13) 眞館幸平, 朝日藤寿一, 森田修一, 小原彰浩, 飯田明彦, 高木律男, 齋藤 功: 二段階口蓋形成手術法における軟口蓋形成術の違いが顎発育に及ぼす影響について—第 1 報 6-7 歳における検討—. 第 72 回日本矯正歯科学会大会, 松本市, 2013. 10. 7-9, 抄録集: 275 頁, 2013.
- 14) 渡邊洋平, 毛利 環, 吉田留巳, 八巻正樹, 浜本宜興, 齋藤 功: 歯の自家移植を併用して矯正治療を行った下顎第一大臼歯欠損を伴う成人上下顎前突患者の長期術後経過. 第 72 回日本矯正歯科学会大会, 松本市, 2013. 10. 7-9, 抄録集: 299 頁, 2013.
- 15) 小栗由充, 齋藤 功: 下顎に埋伏犬歯と歯冠崩壊が顕著な大臼歯を有する切端咬合症例. 第 72 回日本矯正歯科学会大会, 松本市, 2013. 10. 7-9, 抄録集: 313 頁, 2013.
- 16) 古里美幸, 石井一裕, 中村早紀, 小原彰浩, 中村菜々子, 森めぐみ, 高浪悠華, 林田拓也, 吉澤真由美, 石井進子, 八木 稔, 齋藤 功: 矯正歯科石井クリニックにおける患者満足度調査—主に“歯並び vs 口もと”に着目して—. 第 72 回日本矯正歯科学会大会, 松本市, 2013. 10. 7-9, 抄録集: 225 頁, 2013.
- 17) 大竹正紀, 黒瀬雅之, 齋藤 功, 山田好秋, 山村 健介: “中咽頭への味刺激が電気刺激由来の嚥下反射誘発に及ぼす影響”. 第 24 回日本咀嚼学会, 新潟市, 2013. 10. 4-6, 2013.
- 18) 高橋功次郎, 北川純一, 山村健介, 齋藤 功: “上喉頭神経同時刺激による嚥下誘発の促進 The swallowing reflex is facilitated by bilateral electrical stimulation of the SLNs.”. 第 55 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 岡山, 2013. 9. 20-22, 抄録集: 32 頁, 2013.
- 19) 大倉直人, 大倉麻里子, 重谷佳見, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 齋藤 功, 興地隆史: ラット臼歯矯正移動時における歯髓内 prostanoïd receptor の遺伝子発現と免疫組織化学的局在. 第 55 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 岡山市, 2013. 9. 20-22, 抄録集: 189 頁, 2013.
- 20) 大竹正紀, 黒瀬雅之, 長谷川真奈, 齋藤 功, 山村健介: 嚥下誘発における中陰等への苦味刺激の効果とうま味刺激との相互作用. 平成 25 年度第 2 回新潟歯学会例会, 新潟市, 2013. 7. 6, 抄録集: 8 頁, 2013.
- 21) 竹山 雅規, 八巻 正樹, 丹原 惇, 坂上 馨, 西野 和臣, 小林 正治, 齋藤 功: 成人抜歯症例における矯正歯科治療前後の咽頭気道形態および舌骨の位置変化. 日本睡眠学会第 38 回定期学術集会, 秋田, 2013. 6. 27-28, 抄録集: 240 頁, 2013.
- 22) 焼田裕里, 小原彰浩, 寺田員人, 越知佳奈子, 西野和臣, 高木律男, 齋藤 力, 齋藤 功: 下顎後方移動術後の三次元口腔周囲軟組織形態変化解析における重回帰分析の応用. 第 23 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会, 大阪市, 2013. 6. 22-23, 日顎変形誌: 23(2):151 頁, 2013.
- 23) 小島 拓, 小林正治, 加藤祐介, 船山昭典, 三上俊彦, 倉部華奈, 原 省司, 朝日藤寿一, 齋藤 功, 齋藤 力: 著しい長顔を呈する患者に対し馬蹄形骨切り併用 Le Fort I 型骨切り術を用いて改善を行った 1 例. 第 23 回 日本顎変形症学会総会・学術大会, 大阪, 2013. 6. 22-23, 日顎変形誌: 23(2):111 頁, 2013.
- 24) 西野和臣, 小原彰浩, 焼田裕里, 越知佳奈子, 寺田員人, 齋藤 功: コーンビーム CT・歯列模型三次元モデルを応用した顎矯正手術前後における軟組織様相の解析. 第 23 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会, 大阪市, 2013. 6. 22-23, 日顎変形誌: 23(2):150 頁, 2013.
- 25) 上杉崇史, 小野和宏, 安島久雄, 児玉康光, 森田修一, 小林正治, 高木律男: 顎矯正手術後に睡眠時呼吸障害の改善が認められた両側性唇顎口蓋裂を伴うトリチャーコリンズ症候群の 1 例. 第 37 回日本口蓋裂学会, 佐賀, 2013. 5. 30-31, 日本口蓋裂学会雑誌: 38(2):209 頁, 2013.
- 26) 竹山雅規, 八巻正樹, 丹原 惇, 坂上 馨, 大森裕子, 西野和臣, 小林正治, 齋藤 功: 成人抜歯症例における矯正治療前後の咽頭気道形態および舌骨の位置変化. 第 28 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟市, 2013. 5. 26, 抄録集: 25 頁, 2013.

- 27) 古里美幸, 石井一裕, 中村早紀, 小原彰浩, 中村菜々子, 東 愛子, 森めぐみ, 高波悠華, 林田拓也, 芳澤真由美, 石井進子, 八木 稔, 齋藤 功: 矯正歯科石井クリニックにおける患者満足度調査—歯並び vs 口元—. 第 28 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟市, 2013. 5. 26, 抄録集: 27 頁, 2013.
- 28) 中川麻里, 泉 直也, 小林正治, 齋藤 功: 前歯部反対咬合を伴うアングル III 級上下顎前突症例. 第 28 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟市, 2013. 5. 26, 抄録集: 32 頁, 2013.
- 29) 吉田留巳, 渡邊直子, 齋藤 功: 叢生を伴うアングル I 級上下顎前突症例. 第 28 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟市, 2013. 5. 26, 抄録集: 33 頁, 2013.
- 30) 小栗由充, 齋藤 功: 叢生を伴うアングル II 級上顎前突症. 第 28 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2013. 5. 26, 抄録集: 34 頁, 2013.
- 31) 工藤和子, 朝日藤寿一, 齋藤 功: 下顎枝矢状分割術に下顎前方歯槽部骨切り術を併用して治療したアングル III 級骨格性下顎前突症. 第 28 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟市, 2013. 5. 26, 抄録集: 35 頁, 2013.
- 32) 永井嘉洋, 八巻正樹, 齋藤 功: Angle II 級 subdivision 叢生症例. 第 28 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟市, 2013. 5. 26, 抄録集: 37 頁, 2013.
- 33) 小原彰浩: 下顎左側中切歯先天性欠如により下顎前歯部に空隙を伴うアングル II 級 subdivision 不正咬合. 第 28 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟市, 2013. 5. 26, 抄録集: 36 頁, 2013.
- 34) Ahsan SM, Masaki Y, Hossain Z, Saito I: Craniofacial cephalometric analysis of Bangladeshi and Japanese adults with normal occlusion and balanced faces, a comparative study. 平成 25 年度第 46 回新潟歯学会総会, 新潟市, 2013. 4. 20, 抄録集: 12 頁, 2013.
- 35) Valverde YM, Yoshikawa H, Saito I, Maeda T, Seo K: Possible role of BDNF during nerve regeneration after inferior alveolar nerve injury. 平成 25 年度第 46 回新潟歯学会総会, 新潟市, 2013. 4. 20, 抄録集: 12 頁, 2013.

【研究会発表】

- 1) 竹山雅規, 八巻正樹, 丹原 惇, 坂上 馨, 大森裕子, 西野和臣, 小林正治, 齋藤 功: 矯正歯科治療による前歯の後方移動前後における咽頭気道形態の変化について. 第 10 回新潟睡眠呼吸障害研究会, 新潟, 2013 年 11 月 16 日

【受賞】

- 1) 大竹正紀, 黒瀬雅之, 齋藤 功, 山田好秋, 山村 健

介: 中咽頭への味刺激が電気刺激由来の嚥下反射誘発に及ぼす影響. 第 24 回日本咀嚼学会 優秀ポスター賞, 2013 年 10 月 6 日

【その他】

- 1) 齋藤 功: 「医の手帳」連載, 歯並び・かみ合わせ ①～④. 朝日新聞, 2014. 3. 8-29.

摂食嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 井上 誠: 吸綴. 基礎歯科生理学第 6 版 (山田好秋編集), 350-354, 医歯薬出版, 2014.
- 2) 伊藤加代子, 松木貴彦: 歯科口腔領域. 女性医学ガイドブック, 金原出版, 東京, 印刷中, 2014.

【論文】

- 1) Yokoyama S, Hori K, Tamine K, Fujiwara S, Inoue M, Maeda Y, Funami T, Ishihara S, Ono T: Tongue pressure modulation for initial gel consistency in a differential strategy. *PLoS One* 9(3):e91920, 2014.
- 2) Kakudate N, Muramatsu T, Endoh M, Satomura K, Koseki T, Sato Y, Ito K, Ogasawara T, Nakamura S, Kishimoto E, Kashiwazaki H, Yamashita Y, Uchiyama K, Nishihara T, Kiyohara Y, Kakinoki Y: Factors associated with dry mouth in dependent Japanese elderly. *Gerodontology* 31(1):11-18, 2014.
- 3) Moritaka H, Kitade M, Sawamura S, Takihara T, Awano I, Ono T, Tamine K, Hori K: Effect of carbon dioxide in carbonated drinks on linguopalatal swallowing pressure. *Chem Senses* 39(2):133-142, 2014.
- 4) Fujiu-Kurachi M, Fujiwara S, Tamine K, Kondo J, Minagi Y, Maeda Y, Hori K, Ono T: Tongue pressure generation during tongue-hold swallows in young healthy adults measured with different tongue positions. *Dysphagia* 29(1):17-24, 2014.
- 5) Yamamoto S, Taniguchi H, Hayashi H, Hori K, Tsujimura T, Nakamura Y, Sato H, Inoue M: How do tablet properties influence swallowing behaviors? *J Pharm Pharmacol* 66(1):32-39, 2014.
- 6) Fukuoka T, Ono T, Hori K, Tamine K, Nozaki S, Shimada K, Yamamoto N, Fukuda Y, Domen K: Effect of the effortful swallow and the Mendelsohn maneuver on tongue pressure production against the hard palate. *Dysphagia* 28(4):539-547, 2013.
- 7) Hori K, Taniguchi H, Hayashi H, Magara J, Minagi Y, Li Q, Ono T, Inoue M: Role of tongue pressure production in oropharyngeal swallow biomechanics. *Physiol Rep*